

# UHF帯金属対応タグ LogiFlex<sup>®</sup>

## 資産管理のシステム化とICタグの導入により 管理作業を効率化



ICタグは離れた位置からも  
情報を読み取り可能



品名・管理番号を  
印刷したラベル付タグ

- 金属タグで長距離通信を実現。
- 病室内のタグを一気に読み取り。
- 車椅子など、湾曲した部位へもしっかり接着。
- 柔軟素材で安全。
- 高い防水性で水が掛かっても使用可能。

採用タグ	MT-S1	管理対象物	病院内備品 (ベッド・テレビ・絵画等) 病院内機材 (ME機器等)	採用ポイント	長距離通信 可視化対応可能
導入枚数	約1万枚				

### 課題1

#### 院内で保有している ME機器や備品を 把握できていない

使用時に見つからず再購入が相次ぎ  
同じ機器を過剰に保有しているので  
備品を保管する場所に悩むことになった。

### 課題2

#### 資産に関する情報を 病院全体で 共有する体制が 整っていない

院内で多数の管理部門があるため、  
情報共有が難しい。  
管理担当は日々の業務でいっぱいとなり  
きちんとした管理ができない。

## 改善POINT

### 1.全資産を把握

保有するME機器、  
ベッドやキャビネットなどの  
医療用家具や備品を  
全てデータ化

### 2.病院全体で情報共有

データ化した内容は、  
どのフロア、どの病棟からも  
確認が行える状態にする。

### 3.管理業務の簡略化

誰でも、手軽に・  
スピーディーに  
管理業務を行える  
仕組みにする

### 導入効果

#### RFIDの導入により 全スタッフが病院内の資産を把握でき 管理作業の負担が軽減した

資産データは院内で共有化され、必要なME機器の  
利用状態や他フロアの未使用機器の確認が各々で  
簡単に行えるようになった。また、病室の移動や一時  
的な措置によりキャビネットなどの置き場所がわつて  
も本来あるべき場所へきちんと戻すことができるため  
機器や備品の紛失・再購入の頻度も目に見えて  
減ってきている。資産はICタグで管理され、これら  
を読み取るRFIDリーダーの操作はシンプルであるた  
め、業務に支障なく誰でも簡単・スピーディーに棚卸が  
できる体制を整えることができた。

### 今後の展望

#### 管理システムと利用ルールを 予算の有効利用へつなげる

計量的でムダのない資産購入ができるよう、利用履  
歴を主とした資産情報を役立てる。また、紛失による  
再購入をなくすよう、利用ルールを徹底していく。